

タグラグビー 打合表

※事前に団体担当者の方がご記入ください。

実施日時					月 日 () 時 分 ~ 時 分		記入日		月 日 ()	
団体名							団体担当者			
							緊急時の為の携帯番号			
参加者		名	不参加者	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	班 編 成 (目安4~5名)		人班×	班	計 班	
交流の家職員による事前指導を希望 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有					<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		人班×	班		
							人班×	班		
活動のねらい (該当に☑) <input type="checkbox"/> ボール運動に親しむ <input type="checkbox"/> 親睦 <input type="checkbox"/> 仲間との協力 <input type="checkbox"/> 体力向上 その他 ()									交流の家での経験 <input type="checkbox"/> 無・ <input type="checkbox"/> 有	
貸出希望用具										
用具名			希望		用具名			希望		
タグ【1セット(赤・黄・青・緑10本 ベルト20本 計4セットまで)】			セット		マーカー【適量】			<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		
ボール			個		コーン(ドッジビー用)【適量】			<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		
ゼッケン			<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		電子ホイッスル			<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2		
デジタルタイマー【体育館のみ】			<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2		得点版【体育館のみ】			<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2		

●打合せ時記入欄 ※交流の家職員記入 (記入者)

集合時刻	活動場所		事前指導者	
	体育館・柔道場・剣道場・講堂・()		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ()	

※集合時刻 () 分前に、事務室へ () 名、貸出用具の運搬にご協力ください。

●研修の流れ【例:「運動に親しむ」】

※事務室から貸出用具の運搬、確認

- (1) 整列して集合、準備運動、ねらいの確認等
- (2) 活動内容や使い方の説明【希望があれば交流の家職員から】(目安 10分)

※タグの付け方・基本的なルール

- (3) 活動
 - 全体でパス練習や捕球練習を行う。
 - 試合をする場合、選手の人数や時間は団体の実態に応じて行う。
- (4) 研修終了・片付け・ふりかえり(ねらい達成の確認、表彰等)

ゲームの様子



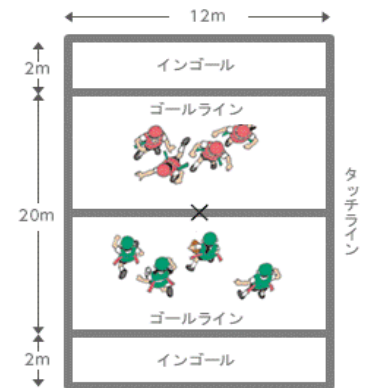
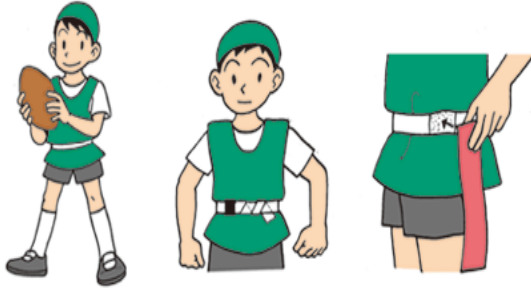
●タグラグビーの基本事項

- ①前に向かってのパスはできません。
- ②パスのボールを落としてしまったら「ノックオン」と言って相手のボールになります。
- ③相手のタグをとるときは「タグ!」と言わなければいけません。
- ④タグをとられて3歩以上走ってはいけません。
- ⑤インゴールを駆け抜ける、またはインゴールにボールを置くとトライとなり得点になる。
- ⑥ワンチームで協力してトライを目指そう!

●タグラグビー ルール概要

①準備（タグをまく）

すべてのプレーヤーは、腰にタグベルトをまきます。ベルトは運動着やゼッケンの上からしっかりとまき、ベルトが余った場合は余った部分をベルトにまいてしまうか、ズボンの中に入れます。腰の左右の位置にある面ファスナー（ワンタッチテープ）にそれぞれ1本ずつタグをつけます。



②ゲーム開始

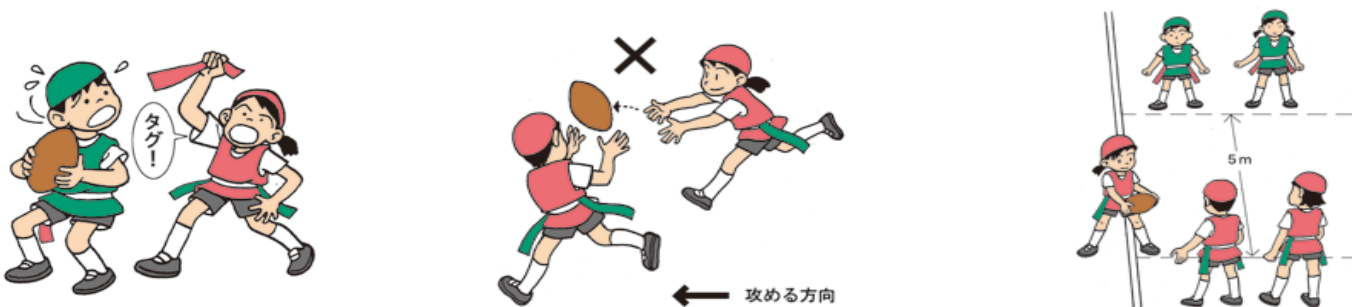
「フリーパス」といってコート中央の×印から攻めるチームがパスを出してゲームが始まります。フリーパスのときには、守るチームは5m下がらなければなりません。フリーパスを最初にもらう、攻める側のプレーヤーは、フリーパスをするプレーヤーの後ろ2m以内に立ち、パスをもらってから走り出します。

③パス

パスは前に投げなければ、いつ、誰にしてもかまいません。ボールを前に投げってしまった場合は、「スローフォワード」という反則になります。スローフォワードが起こったときは、前へのパスを投げってしまった地点から相手側のフリーパスとなります。

④タグ

ボールを持って走ってくる、攻める側のプレーヤーの前進を、守る側のプレーヤーはタグをとることで止めることができます。このプレーのことを「タグ」と呼びます。タグをとったプレーヤーは、とったタグを頭上に指し示し、大きな声で「タグ！」とコールします。ボールを持っているプレーヤーは、左右どちらかのタグをとられたらすぐに走るのをやめて、ただちにボールをパスしなければなりません。目安は3歩以内です。タグをされてから3歩以上走ってしまったときは、タグをとられた地点まで戻ってパスをやり直します。



⑤身体接触について

タグラグビーでは、すべての身体接触が禁止されています。また、攻める側がタグをとられないようにクルクル回転したり、守る側が手を大きく広げて守るプレーは、身体接触を引き起こす原因になるので禁止です。地面に落ちたボールへのダイビングも禁止です。転がっているボールは立ったまま拾わなければなりません。また、キックも禁止です。ボールはいつでも手で扱います。

⑥ゲームの終了

ゲームが終わったら、握手をして「ありがとうございました」と挨拶をします。ゲームの終了のことを、ラグビーの世界では「ノーサイド」と言います。対戦した相手チームと一緒にタグラグビーを楽しんだ仲間であり、ゲームの終了とともにチームとチームの間の境がなくなるという考えです。